

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムティ吹田市垂水町3丁目	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市垂水町3丁目5番5号	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域。準防火地域。埋蔵文化	平均居住人員	68 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2016年3月16日
敷地面積	639 m ²	作成者	中川 元一
建築面積	324 m ²	確認日	2016年3月16日
延床面積	2,665 m ²	確認者	中川 元一

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>駐車場及び駐輪場を出来る限り設置し入居者の交通の便に考慮した。又出来るかぎり緑地を設け温熱環境にも考慮した。建物の断熱等級3を取れる断熱構造として省エネにも考慮した。</p>	0
<p>Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を使用し科学汚染物質の発生を抑制した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り植込を設け草木を植樹した。</p>
<p>LR1 エネルギー 各所にLDE照明を採用し、エネルギー効率化を行った。</p>	<p>LR3 敷地外環境 各所にLDE照明を採用し、エネルギー効率化を行った。</p>
<p>Q2 サービス性能 維持管理において管理しやすい外壁材、床材を使用した。</p>	
<p>LR2 資源・マテリアル 節水に配慮した。</p>	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0001

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)サムティ吹田市垂水町3丁目					
	建設地	大阪府吹田市垂水町3丁目5番5号					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	

【評価項目】			
省エネルギー対策		① CO2削減	
省エネルギー対策		② 省エネ対策	
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策	
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他			
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項			